

知事記者会見資料

平成25年12月19日 企画部

事項	概要等	備考
<p>科学の甲子園全国大会の茨城県開催決定について</p>	<p>各都道府県代表の高校生が、理科・数学などの知識やその活用力を団体で競う「科学の甲子園全国大会」(主催：(独)科学技術振興機構)について、平成26年度(第4回)から平成28年度(第6回)までの本県開催が決定しました。</p> <p>1 科学の甲子園全国大会概要</p> <p>各都道府県の代表選考会を勝ち抜いた代表47校(チーム)が筆記競技(物理・化学・生物・地学・情報・数学)、実技競技(いずれかの科目の実験や工作を伴う競技)に挑戦し、総合点を競い合う。</p> <p>○目的：科学好きの裾野を広げ、トップ層の一層のレベルアップを図る。</p> <p>○対象：高校1～2年生</p> <p>○実施日：平成27年3月20日(金)～23日(月)予定</p> <p>※平成27年度、28年度の開催日程は未定。</p> <p>○実施会場：つくば国際会議場(メイン会場)、つくばカピオ(実技競技会場)</p> <p>○主催：(独)科学技術振興機構(JST: Japan Science and Technology Agency)</p> <p>○共催：茨城県、茨城県教育委員会、つくば市</p> <p>○後援：文部科学省(予定)</p> <p>○参加者：1,100人程度(都道府県予選6,000～7,000人程度)</p> <p>○内容：筆記競技：12問程度(物理・化学・生物・地学・情報・数学) 実技競技：3競技程度(実験競技、総合競技※次ページ備考参照) 研究機関・協賛企業によるブース出展、交流会 市内研究機関等へのエクスカージョン(施設見学) 等</p>	<p>【第3回 科学の甲子園全国大会概要】</p> <p>○主催：(独)科学技術振興機構</p> <p>○共催：兵庫県、兵庫県教育委員会、高等学校文化連盟全国自然科学専門部</p> <p>○後援：文部科学省</p> <p>○日程：平成26年3月21日(金)～3月24日(月)</p> <p>21日：開会式、オリエンテーション</p> <p>22日：筆記競技、実技競技</p> <p>23日：実技競技、表彰式、エキシビション、交流会等</p> <p>24日：エクスカージョン(見学)</p> <p>【本県代表校】</p> <p>第1回、第2回 土浦第一高等学校</p> <p>第3回 常総学院高等学校</p> <p>【参加者内訳】(主催者見込)</p> <p>生徒・教員 450名 関係者 150名 一般来場者約 500名</p>

事項	概要等	備考
科学の甲子園全国大会の茨城県開催決定について	<p>2 開催地決定までの経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成25年9月9日～11月11日：公募（応募：本県のほか2自治体） ○ 書面審査、プレゼンテーションの結果、有識者で構成する「科学の甲子園推進委員会」の審議結果をもとに本県開催が決定。 <p>3 期待される効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 理数教育の推進 ○ 次世代の科学技術を担う人材育成 ○ 本県のイメージアップ <p>4 本県開催の特色</p> <p>サイエンスシティつくばの特色を最大限に活かし、本県ならではの大会を開催予定。今後、実現に向け、関係機関と協議していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ つくば市内の研究機関を見学するエクスカージョン（サイエンスツアー） ○ ロボット（セグウェイ）を活用した来場者誘導、一般見学者向け試乗会 ○ 研究機関によるブース出展（研究成果パネル展示、開発機器（ロボット等）の展示・実演 ○ サイエンスグッズ・特産品等の販売 JAXA 宇宙食、地質標本館化石チョコレート等 ○ 交流会への研究者参加 	<p>※【総合競技】</p> <p>科学的な技術・知識を活用し、ものづくりなどの能力も生かして課題解決を図る。</p> <p>○第1回課題例</p> <p>「クリップモーターカー・フォーミュラー1」</p> <p>大会事務局が用意した材料（磁石やエナメル線等）のみでモーター及び模型自動車を作らせ、コース上で速さを競わせる。</p>